

自立を支える学びのセーフティネット

～新しい時代の新しい夜間中学～

【学校内の要素】

- ・特別の教育課程（社会経験のある生徒への、課程の修了や卒業を認めるに必要な内容のみ）
- ・日本語に通じない生徒（36%）
- ・不登校を経験した生徒

【学校評価での課題】

他の生徒のことを理解している。3.05点
 他の生徒と上手く接している。3.11点

【学校外の要素】

- ・市内不登校中学生徒 443人
（R1年度市内の約25人に1人）
- ・市内生活困難層 25.1%
（H29年市立中学2年生市実態調査）
- ・市内外国人居住者の増加
（H24年度 10,642人→
R1年度 17,057人（約3.4%））

目指す方向

生徒が満足できる授業と教育活動

【授業】

- ①生徒が満足する授業
（興味を引く教材・難易度設定）
- ②「分かりやすい日本語」での説明
- ③TT補助を活用する授業
- ④生徒の活動量の保障
- ⑤ユニバーサルデザイン（UD文字、ふりがな、見やすいパワポ）の配慮
- ⑥肯定感を高める評価
（確認テスト・通知票）

【心のケア】

- ①生徒に寄り添う職員集団
（担任団制度・技能授業・行事）
- ②生徒同士の人間関係への支援
- ③生徒情報の職員間での共有
- ④教育相談（毎学期・全職員）の工夫
- ⑤スクールカウンセラー・養護教諭と生徒の関係構築

【健康】

- ①感染症対策の徹底と継続
（職員・生徒がやること）
- ②感染症対策を意識した学校行事の計画作り
- ③高齢生徒、基礎疾患のある生徒の把握と健康管理
- ④適切な健康情報の提供
- ⑤望ましい生活リズムへの指導

校内で閉じず、つなぐ機能 : 養護教諭 SC 生徒指導等

基盤としての校外機関

福祉関係 中核地域生活支援 松戸市生活支援一課、二課 子ども家庭相談課
 教育関係 旧古ヶ崎南小 SSWer 教育委員会学務課